

## 会 議 録

| 日   | 令和7年3月18日(火)                                                                                                                                                                                          | 時間 | 13:30～15:00 | 場所   | 糸魚川市役所 201, 202 会議室 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------------|------|---------------------|
| 件名  | <b>議事</b><br>(1) 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定について<br>(2) 令和7年度事業について<br>(3) 令和7年度教育・保育施設等の利用定員及び申込み状況について<br>(4) 保育園等の適正配置と公立保育園の民営化について<br>(5) その他                                                            |    |             |      |                     |
| 出席者 | <b>【委員出席者】 9人</b><br>山本(裕)会長、松本副会長<br>中村委員、清水委員、藤田委員、井伊委員、室川委員、神田委員、黒坂委員<br><b>【委員欠席者】</b> 長谷川委員、陸川委員、山本(悠)委員、小野委員、山田委員<br><b>【事務局】(教育委員会事務局) 6人</b><br>山本教育次長、古川こども教育課長<br>室橋こども課長 田村課長補佐 飛弾野係長 能登主査 |    |             |      |                     |
|     | 傍聴者定員                                                                                                                                                                                                 | 一人 |             | 傍聴者数 | 0人                  |

### 会議要旨

|     |                                                                                                                                            |      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 1   | 開 会                                                                                                                                        | 教育次長 |
| 2   | 議 題                                                                                                                                        |      |
| (1) | 子ども・子育て支援事業計画について                                                                                                                          |      |
|     | (委員) 数の出し方等をわかりやすく表示してほしい。                                                                                                                 |      |
|     | → (市) 継続性・実効性を踏まえて第2期を基本として作成しているが、見やすさやわかりやすい分析など検討していく。                                                                                  |      |
|     | (委員) アンケートを取る前に意見を集約することなど、事前に協議などの意見をとることで計画も生きてくるのではないか。                                                                                 |      |
|     | → (市) 今後、そのような視点をもって計画を進めていく。                                                                                                              |      |
|     | (委員) 周知がなかなか難しい現状もあるのか、パブリックコメントの意見がなかったことは残念に思う。                                                                                          |      |
| (2) | 令和7年度事業について                                                                                                                                |      |
|     | (委員) 情報化先進国でタブレットから紙ベース教育に戻すという新聞記事を見たが、タブレット学習で学力がつくのか不安に思うところがある。                                                                        |      |
|     | → (市) 市単独での検証を進めていくことは難しい。タブレットが問題なのか、タブレットを使った授業が問題なのか、国の方針に習うところもあるが、検証していきたい。教科書もデジタルにしていくという国の考え方もあると聞いている。国の動向や子どもたちの様子を注視して検証していきたい。 |      |
|     | (委員) 子どもの視力への影響も心配している。                                                                                                                    |      |

- （市）子どもの視力に関しては、全国も市内も下がっている状態はある。
- （委員）中学校の教科書には二次元コード等が貼り付けてあり、タブレット使用を前提とした作りになっている。子どもによって、紙ベースやタブレットの得手不得手があると思うし、使用を選択できるようなことになれば良いのではないか。タブレットだけが原因でないと思うが、文字が下手になったということも聞く。タブレット機器そのものの更新の必要性はあるのか。
- （市）タブレットの容量やアプリの更新などで機器交換の必要はある。財源的には国からも5年に1度、補助金等の支援がある。二人のご意見について主に健康面と学力面の2点について心配いただいているが、健康面は姿勢や斜視などの課題もあり、できる限り現場でも気をつけている。学力面においては、子どもは動画などで興味をもちやすいという良さもある反面、文字を丁寧に書けなくなることも心配している。不足するところは、それぞれの学校授業で指導していきたい。
- （委員）病児保育事業について、病児保育に対して経費をかけるよりも、家庭保育に対して補助した方が良いのではないか。
- （市）病児保育事業は、親の就労支援的な意味合いもある。ある程度の利用人数と規模によって事業費が定まっているが、愛着形成の観点でいえば親子で一緒にいる状況を作ることでも大事であり、国等の状況を踏まえ、今後の事業の参考とさせてもらいたい。
- （委員）国は、教育よりも児童福祉の充実を図っているように見ている。
- （市）こども真ん中という視点でいうと、考慮しなければならないところもあるが、お休みが取れないお仕事をされている方の緊急避難として制度があると考えている。
- （委員）小さいお子さんがいるご家庭は、お休みが取りづらかったり、所得が十分でなかったり、大変だとみている。コロナ渦のときに所得保証があったので、そのような形であればご家庭は助かるのではないか。
- （市）市単独では難しいが、コロナ渦での事業事例があるため、国の動向を見ながら検討していきたい
- (3) 令和7年度教育・保育施設等の利用定員及び申込み状況について  
意見等なし。
- (4) 保育園等の適正配置と公立保育園の民営化について
- （委員）保育の引き継ぎについて、どの程度の期間でできるのかをしっかりと考えてほしい。アンケートにおける保育の質と保育サービスの表現について、同一と勘違いされる表現があるので気をつけるべき。
- （市）民間法人へのアンケートについて、適当な表現でない部分があったのであれば申し訳ない。今後、表現に気をつけたい。
- （会長）3者協議会のなかに、公立保育園の保育士が関わることも検討していけばどうなのか。
- （市）一定の行政関与ができる公私連携型保育所の設置を予定している。
- （委員）国の保育の質の向上は構造上の向上と思うので、糸魚川市では子どものことを思って進

めてもらいたい。各公立保育園で収支決算をしているのか。

→（市）各園で個別に運営費の収支決算は積み上げておらず、事務職側で行っている。

（委員）子どもたちにとってより良い園にしてもらいたい。公立保育園の統合を先に進めていったほうが良いと思う。

→（市）情報収集について、今年度、市川市、西東京市などにも視察させていただいているが、全国には様々なケースが考えられる。

→（市）基本方針について、1つ目に市の適正配置と民営化を推進することとして、皆様に投げかけさせていただいたと考えており、2つ目の子どもの成長段階に応じた持続可能で保育の質の提供も重要であり、今後、糸魚川市らしい適正配置と民営化を進めていきたい。

（委員）市の財政状況、保育士不足などの課題は多い。

→（市）保育士不足は全国的な状況である。将来糸魚川市で保育士として働きたい学生に保育士修学資金を今年度から始めており、現在、5名の方からご利用いただいている。

（委員）土地、建物の無償譲渡について、民間法人の運営が厳しくなった際などの資産処分などを含めて検討してもらいたい。

（委員）今ある民間法人から申込してもらうことや、保育士同士の交流も大切と思う。市内に応募してくれる法人はあるのか。

→（市）調査では3者から興味関心を示していただいている。

#### (5) その他

（委員）屋内遊戯施設整備について検討中となっている。屋内遊戯施設は早急に実行してもらいたいと思う。体育館の開放なども検討してもらいたい。

→（市）夏場の猛暑などもあって、昔のように子どもが安心して遊べる場も少なくなっていると考えている。屋内遊戯施設の整備はしっかりと推進していくという思いで進めている。体育館の開放はすぐに難しいが、市内公民館等を使ったアソビバという取組も進めており、来年度も引き続き開催したいと考えている。